

## 神奈川の研究者紹介

氏名	松浦 広明 (まつうら ひろあき)	
現職	松蔭大学副学長 (博士 (グローバルヘルスおよび人口学))	
主な経歴	慶應義塾大学卒、シカゴ大学大学院等を経て、ハーバード大学より博士号取得。 オックスフォード大学専任講師を経て、現職。	
専攻分野・研究テーマ	医療経済学、人口学、健康・安全・環境のリスク規制	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等)	<p><b>【著書】</b> Matsuura, H. and E. Sase "The Right to Health in Japan: Challenges of a Super Aging Society and Implications from Its 2011 Public Health Emergency" in "Advancing the Human Right to Health" , edited by Jose M. Zuniga, Stephen P. Marks, Lawrence O. Gostin, Oxford University Press, 2013</p> <p><b>【論文】</b> Matsuura, H. "State Constitutional Commitment to Health and Health Care and Population Health Outcomes: Evidence from Historical U.S. Data" , American Journal of Public Health: July 2015, Vol. 105, No.S3: e48-e54. Matsuura, H. "Does Constitutional Right to Health Matter? A Review of Current Evidence" CESifo DICE Report: Journal for Institutional Comparisons 12 (2), p.35-41, 2014</p> <p><b>【委員・役員歴】</b> 国際連合開発計画(UNDP)コンサルタント、国際連合人口基金(UNFPA)コンサルタント、国連大学世界開発経済研究所(UNU-WIDER)コンサルタント、日本高等教育評価機構評価委員、国連総会ポスト2015開発アジェンダ非公式相互ヒアリング利害関係者運営委員など。</p>	
神奈川県との関わり	<p>中学から6年間、藤沢市に、大学2年間は、横浜市港北区に通っておりました。現在も大和市に住み、厚木市の大学に勤めています。</p>	
メッセージ	<p><b>【現在、関心をもっている領域】</b> 2015年、9月にニューヨークの国連本部で採択された2030年までの世界の新たな目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」への貢献。特に、都市レベルの高齢化対策、医療政策、交通安全政策、防災政策、環境政策に興味を持っている。</p> <p><b>【神奈川県との連携に期待すること】</b> 厚木市・神奈川県が、松蔭大学と共に、高齢化対策、医療、防災、環境分野の都市経営のノウハウを高め、それを途上国の都市に輸出して、これらの分野で、世界の都市を牽引できる存在になるよう期待しています。</p>	
連絡先	<p>〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮9-1 松蔭大学 電話：046-247-1511 E-mail：hiroaki.matsuura@shoin-u.ac.jp</p>	

## 神奈川の研究者紹介

氏名	立野 貴之 (たちの たかし)	
現職	松蔭大学観光メディア文化学部准教授 (博士 (工学))	
主な経歴	岡山県立大学大学院 (知能メディア工学専攻) にて博士 (工学) 取得。 松蔭大学講師を経て、2014年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	情報学／教科教育学 ビジネスゲームの教育利用	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等)	<p><b>【著書】</b> Presentation to Go-Building Presentation Skills for Your Future Career-, 2014 文系学生のための情報活用, 共立出版, 2010</p> <p><b>【論文】</b> 「情報の科学」におけるビジネスゲームを導入した授業実践, 日本情報科教育学会 学会誌 vol.7 No.1 pp.87-91 An Approach to Utilize Ubiquitous De-vices for a Game-based Learning Environment, The Journal of Information and Systems in Education Vol.12 pp.27-38, 2014 ビジネスゲームPrice Gameの開発と検証, 情報文化学会誌, 19(2) 26-34, 2015, 他</p> <p><b>【委員・役員歴】</b> NPO法人 観光文化研究所 (監事)</p>	
神奈川県との 関わり	研究室のゼミ生が中心として、神奈川産学チャレンジプログラムへの参加や厚木協働大学特別講座、かながわ移動観光大学などの運営を毎年積極的に実施している。	
メッセージ	<p><b>【現在、関心をもっている領域】</b> 関心があるのは、学生のPCやケータイ (携帯電話やスマートフォン) 利用の動向に関する研究と利用方法についてである。同期的・非同期的といった視点で、ビジネスゲームの可能性も広げ、また、デジタルネイティブと呼ばれる学生のPC、ケータイの利用に関する不安や意識を分析している。教育システムによる効果的な方法論や、学生の動向を深く知ること、そして、これらの研究成果を活かし授業を発展させることを目標としている。また、看護教育への応用も進めている。</p> <p><b>【神奈川県との連携に期待すること】</b> 神奈川産学チャレンジプログラムのように学生さんの見識を広げるためにも、様々な活動を通して神奈川県と大学と連携強化を図り、より質の高い教育を学生さんに提供できる体制づくりを期待している。</p>	
連絡先	〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮9-1 松蔭大学 電話：046-247-1511 E-mail：tachino@shoin-u.ac.jp	